

団体名	昔ばなしの里こっぷり	代表者	会長 三上 昌子	記載者	岡崎 裕生
所在地(市区町村名のみ)	岡山県新見市				
活動目的	新見市哲西町出身の民話の語り部、賀島飛左さんが残した民話を継承し語り継ぐ活動を通して、民話と鹿島さんの功績を啓発し、交流を深めることを目的とする。				
団体の紹介	<p>新見市哲西町は、1人で600話以上の民話を語る国内有数の民話の伝承者、賀島飛左さんの誕生の地である。この地に、度々民話の収集・研究にいられていた日本民話の会会長、立石憲利先生とご縁があり、民話の手ほどきを受ける。その時の受講生が、平成29年4月8日に「昔ばなしの里こっぷり」の会を立ち上げ、民話の語りの発表を通じて賀島飛左さんの伝承した民話を語り継ぎ、その功績と民話を啓発するために、公演活動を始めた。子育て広場や地域のふれあいカフェやミニデイサービスを中心に、昨年度は年間54回の公演を行った。本年度も、1月末まで44回の公演を行ってきた。幼児から高齢者まで幅広い聴衆に対応できる、楽しく温かみのある民話の語りを心がけている。</p>				
助成を受けての活動内容	<p>〇こっぷり民話の集い</p> <p>本会が主催事業として、平成30年10月27日、道の駅鯉が窪文化伝習館に於いて、民話の発表会を実施した。当日は、会員12名がそれぞれの演目で、民話の語りを発表した。参加された聴衆の皆様にご感想をいただき、本会の励みにもなった。助成していただいた機材が有効に活用され、民具を活用した舞台演出とピンマイクを使った音響も好評で、演者は自信をもって演じることができた。民話がもつ温かみと懐かしい思い出を聴衆と共有することができ、民話の語りに対する会員の意識も向上した。また、講師としてお招きした立石憲利先生に講評をいただくことで、語りの研鑽を行うこともできた。</p> <p>〇要請を受けて行った民話の語り活動</p> <p>定例の子育て広場の昔話の語りのほか、近隣各種団体からの要請や各種イベントへの参加、他団体との交流など、様々な機会と場所で民話の公演活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場こども読書週間 ・キャンドルナイト ・小学校 ・各種ふれあいサロン ・老人クラブ主催のミニデイ ・養護老人ホーム ・子育て広場昔話お話会 ・各地の敬老会 ・おかやま民俗芸能フェスティバル ・新見フォーラム ・あかりとぬくもりの道具展 ・哲西町文化祭 ・児童クラブクリスマス会 ・各種ふれあいカフェ <p>〇このほかの主な活動として、岡山語りのネットワーク南部交流会を主催した。</p>				
助成を受けての成果	<p>助成により、ワイヤレスピンマイク等の放送機材を購入することができた。民話の語りは、音声が重要である。放送機材の充実で、演者も自信をもって聴衆の前に立つことができ、来場者へ民話の素晴らしさを伝えることができた。また、ステージ設営でも、民具を固定する材料を購入することができ、ステージ演出に一段と磨きがかかり、聴衆の皆さんからも好評であった。数々の公演を行うことで、鹿島飛左さんの伝承した民話を通して、多くの方々と心温まる交流を深めることができた。</p>				
今後の活動の課題点	<p>語りの公演活動を行う上で、幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とするため、演目の選択や対象に合わせた語り口など、まだまだ学ばなくてはならないことがある。今後も、会員相互の研鑽に努めていきたい。また、将来を見通す中で、会員数が少ないことに不安を覚える。新会員の勧誘や後継者の育成に努め、現会員も指導者としての技量が培われるように精進していく必要を感じる。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>会長 三上昌子 090-5691-3800</p> <p>事務局 岡崎裕生 090-4656-4524 Fax 0867-94-2181 hitch-96.a-jr-ski.ok@docomo.ne.jp</p>				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。

A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)

写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

